

いちご一会 ～北山の柱として～



何気ない日常に思える日々も、二度と巡ってこないものです。「あたり前」はあたり前ではないのではないのでしょうか。かけがえのない「今」、ともに過ごす仲間感謝の気持ちを持ち、日々を大切に過ごしてほしいと思います。

中学校生活の後半戦が始まります

3年間の中学校生活がちょうど半分終わりました。10月から今年度の後期に突入し、生徒会や委員会の活動も2年生が中心になります。いよいよ学校の中心となり、「北山の柱として」の活躍が期待されます。「稲武」で大きく成長した皆さんの力を生かしていきましょう。10月は体育大会、11月は音楽祭があります。2学期は大きな行事を通してクラスとしての団結をさらに強めていきましょう。

「稲武の思ひ出」より

A組…私は元々生き物が嫌いで、魚なんてとれない、怖いと思っていました。(活動が)終わりに近づき、魚がいなくなってきたときに、(仲間の)「ここにいるよ!」という声を聞き、勇気をふりしぼって捕ることができました。あきらめないこと、恐れずに挑戦することの大切さを感じました。(稲武を通して)、少し人として成長できました。これからも、なりたい自分になれるよう努力していきたいです。

B組…トーチ実行委員のみんなが、当日まばたきもできないほど夢中にさせてくれた。夏休み中もすごく努力して練習していた姿に尊敬と感謝でいっぱい。どの実行委員も、2年生全員が努力をしたから、ずっと楽しい稲武になった。これからもみんな協力して、笑顔いっぱいの学年にしたい。

C組…「君に巡り合えた それって『奇跡』」。私は、キャンプファイヤーで「キセキ」を歌った時が、一番心に残りました。全員で火を囲んで1つの輪になって歌った時のうれしさは忘れもしません。「学年で1つのものを作りあげている」と実感できました。ほほえましい光景が目の前に広がり、この学年はみんなやさしくて仲が良いなど、とてもうれしく思いました。良いメンバーに囲まれたなとも思いました。今回の稲武は、「仲間」の素晴らしさを一番感じました。この気持ちを卒業まで忘れずにいたい。きっと、(これからもっと)すごい学年になると感じました。

学級旗制作の様子

9/3～9/6まで、各クラス有志による学級旗制作を行いました。さすが2年生という出来映えの力作がそろっていますので、体育大会では、各クラスの特徴が表れた学級旗にも注目いただけたらと思います。